

第3章
「第二期健康たがじょう21プラン」
「第二期多賀城市食育推進プラン」
評価結果

1 評価の目的

「第二期健康たがじょう 21 プラン」「第二期食育推進プラン」策定時に設定した目標について、その達成状況を評価し、結果を第三期計画の策定や施策の立案に活用することを目的として実施しました。

2 評価の方法

各種統計データやアンケート調査により得られた結果をもとに、「第二期健康たがじょう 21 プラン」「第二期食育推進プラン」で示した分野の指標について評価を行いました。第二期当初値との比較を行い、目標の達成状況を以下の判断基準により評価しました。

■目標達成度の判断基準

評価区分	基準
A (達成)	最終値が目標値を達成
A' (改善)	最終値が目標値を達成しないが、第二期当初値と比較し目標値の方向に2%を上回った変化
B (横ばい)	最終値が第二期当初値と比較し±2%以内の変化
C (悪化)	最終値が第二期当初値と比較し目標値の反対の方向に2%を上回った変化

3 評価の結果

第二期健康たがじょう 21 プランについては、評価可能な 62 項目のうち、23 項目が「A (達成)」「A' (改善)」に該当し、全体の 37.1%で改善の成果が出ています。

特定健診受診率向上の取り組みとして、集団健診の他に個別健診を実施したことにより受診率が向上しました。また、乳幼児健診の未受診者を関係課と連携し把握したことで、状況不明者をなくすことができ、成果がみられました。

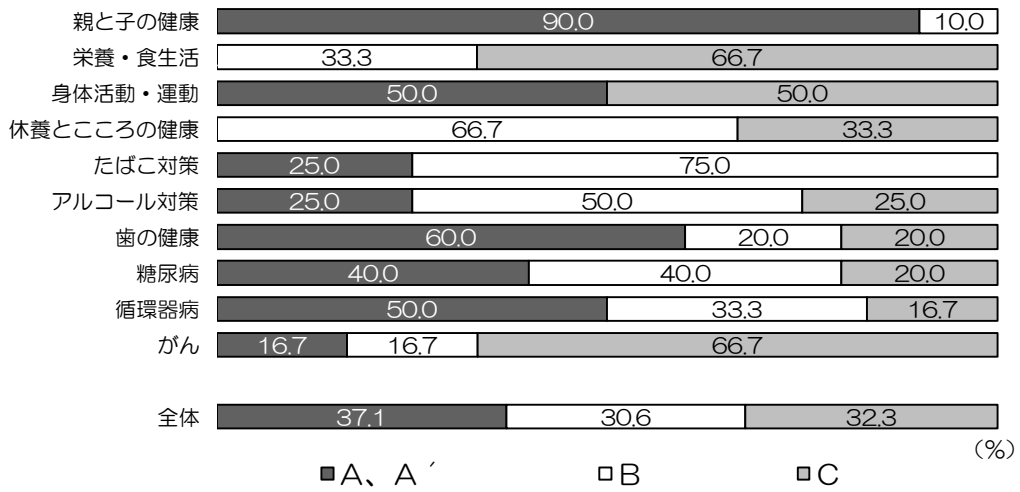
一方で、全体の 32.3%が悪化しており、仕上げみがきをしない 1 歳 6 か月児が増えているなどの課題が残りました。

第二期食育推進プランについては、21 項目のうち、4 項目が「A (達成)」「A' (改善)」に該当し、全体の 19.1%となっています。

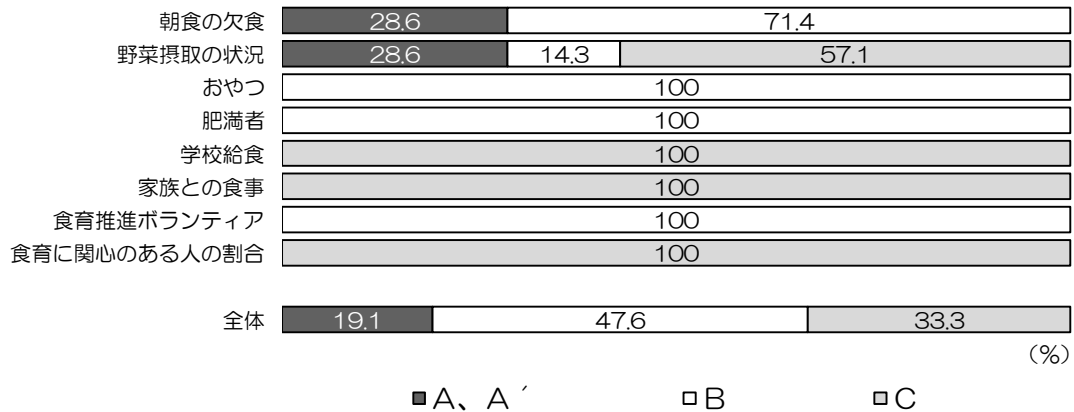
朝食の欠食は、3 歳児・思春期で改善がみられています。乳幼児健診や学校で朝食の大切さ等について指導していることが、保護者や本人の意識の向上につながったと考えられます。

一方で、全体の 33.3%が悪化しており、野菜を食べない 1 歳 6 か月児と青年期が増えている状況です。また、家族と一緒に食事をとる子どもの減少や、食育に関心のある人の割合が減少しているなどの課題が残りました。

■ 第二期健康たがじょう 21 プラン分野別評価結果割合



■ 第二期多賀城市食育推進プラン評価結果割合



■ 評価ごとの主な項目

評価	主な項目
A 達成 (18 項目)	○朝食を欠食する人の減少 (3 歳児、思春期) ○健診の未受診者を把握し、状況不明者をなくす ○特定健診実施率の向上 等
A' 改善 (9 項目)	○麻しん風しん混合予防接種の接種率の向上 (3 期、4 期) ○未成年者の喫煙・飲酒をなくす (男子 (中学 3 年生)) ○がん検診精密検査受診率の向上 (肺がん、前立腺がん) 等
B 横ばい (29 項目)	○気軽に相談できる相手がいる人の増加 (成人男女) ○喫煙者の減少 (40 歳以上の男女) ○肥満者 (BMI * ≥25) の減少 (40 歳以上) 等
C 悪化 (27 項目)	○野菜を毎食食べる人の増加 (1 歳 6 か月児、青年期、40 歳以上男女) ○がん検診受診率の向上 (胃、肺、乳、子宮、前立腺) ○「毎日」仕上げみがきをしない子どもの減少 (1 歳 6 か月児) 等

* P109~110 に用語説明があります。